

平成29年度第1回庄原市教頭研修会

平成29年5月31日(水) 庄原市総合体育館

庄原市教育行政施策の方針を踏まえ、今日的教育課題の解決に向けた方策や組織的な学校運営のための教頭の果たすべき役割について理解することを通して、自校の学校運営のより一層の充実と改善に資することをねらいとして実施しました。

平成29年度サテライト研修講座 講話・演習「カリキュラム・マネジメント」講座 広島県立教育センター 教科教育部 村田 耕一 指導主事

「学びの変革」平成30年度全県展開に向けて、より一層、カリキュラム・マネジメントが必要となります。本研修講座では、「カリキュラム・マネジメントとは?」「どのようにカリキュラム・マネジメントを進めていけばいいの?」などについて理解し、演習を通してカリキュラム・マネジメントの具体的な手法について学びました。そして、自校のグランドデザイン(学校経営構想図)を基に、「つなぐ」をキーワードにして、教頭として具体的にどのように取り組んでいくかを考え、交流しました。

カリキュラム・マネジメントのレベル

- ① 学校のカリマネ
 - ② 各教科等のカリマネ
 - ③ 学年のカリマネ
 - ④ 学級のカリマネ
- ※ 教頭は、学校のカリマネを進める (カリキュラムをデザインし、マネジメントする)

カリキュラム・マネジメントの3つの側面

- ① カリキュラム・デザイン
※ 各教科等の教育内容を相互の関係で捉える
- ② PDCAサイクル
- ③ 内外ソースの活用

カリキュラムをデザインし、マネジメントすることは、「つなぐ」こと

「目指す子供像」と「教職員」をつなぐ ⇒ 例: 資質・能力を教職員と子供で共有する
「目指す子供像」と「取組」をつなぐ ⇒ 例: 資質・能力の育成に向け、どのような教育活動を進めるのかを共有し、組織的に取り組む



【参加者アンケートから】

- 一つ一つの取組が、資質・能力の育成につながっているかどうかを常に問い合わせ、目的を明確にすること、そして、一つ一つの取組を次の取組につなげていくことが大切である。
- 行事や教育内容をつなぎ、資質・能力を育成するためのデザインの仕方が参考になった。
- 資質・能力の育成に向け、全体計画、教育活動、児童、教職員をもつとつなげていく必要があると思った。まずは、どのような姿を目指すのか、再度、児童と一緒にイメージ化していきたい。
- 目指す子供像と研究主題をつなぐところが十分でないと感じている。より具体的な場面をイメージし、カリキュラムマップ等、計画を作成していく。
- 年度当初に作成した計画が活用できていない。活用しながら修正していきたい。
- 育成したい資質・能力を、行事計画の段階で教職員に意識させるような助言をしたい。
- 資質・能力をどう評価していくか考えていきたい。